

I DORAMPICはどこに位置づけられるか？

項目	内容
伝統的なジャンル	風景画、ロマン主義、象徴主義に近いがそれだけではない
現代アート内の潮流	ポスト概念主義的、ニュー・ロマンティズム的傾向あり
最もふさわしい評価	「ジャンルを横断する独自の系譜」 = DORAMPICはDORAMPICという新しいジャンル

II DORAMPICの系譜をたどるアート年表 ～風景と物語・感情の融合

年代	アート運動／作家	特徴とDORAMPICとの関係性
紀元前～	古代ギリシア・ローマ	景観は背景でしかなかった。人間中心。 DORAMPICの「背景を主役にする」点と対照的。
14～15C	ルネサンス（レオナルド、ピエロ）	遠近法・自然の観察。物語は人物に込められた。 DORAMPICの「風景にも物語を」の対極から出発。
17C	バロック（ルーベンス、レンブラント）	光と影、劇的表現。 DORAMPICのドラマ性の祖型的要素。
18C	ロココ→新古典主義	風景は装飾に近かった。
19C前半	ロマン主義（フリードリヒ）	✓ 自然が感情を代弁。孤独・崇高さ。 DORAMPICの情緒的風景の直系。
19C中盤	バルビゾン派、ミレー	風景と人間の関係、農民の静かなドラマ。 日常の中の詩情。DORAMPIC的「静かなドラマ性」に接近。
19C後半	印象派、ポスト印象派（モネ、ゴッホ）	✓ 光と時間の移ろい、特にゴッホはDORAMPICの 起点。色彩と感情が風景と融合。
20C初頭	象徴主義（ルドン）／キリコ	内面世界と風景の融合。超現実的空間。心理的風景 = DORAMPICの側面と共鳴。
20C中盤	抽象表現主義（ロスコなど）	感情の抽象表現。ただし物語性より情緒性が強調 され、DORAMPICとはやや異なる方向。
20C後半	コンセプチュアルアート、ポップアート	アイデア重視で感情や風景は薄れる。DORAMPIC はこの流れの「揺り戻し」としての再提案。
21C	ポスト概念主義、映像インスタレーション、AIアート	表現方法は広がったが、見る人の感情に残るアートの 再定義としてDORAMPICが登場しうる。

III DORAMPICの「原点」としてふさわしい作家

「風景＋感情＋物語性」という軸で見ると、以下の作家がDORAMPICの精神的起源にぴったりです。

作家	特徴	DORAMPICとの関係
👤 カスパー・ダーヴィット・フリードリヒ (19Cロマン主義)	自然の中に孤独と精神性を見出す。人は風景に対して小さい存在。	✅ 風景が感情を語る起点。静かなドラマ性はまさにDORAMPIC的。
👤 フィンセント・ファン・ゴッホ	色彩・筆致・主観の込め方が極めて強い。風景に感情を込めた典型。	✅ DORAMPICの美学的・情緒的な原点。
👤 ヴィルヘルム・ハンマースホイ	空間の静寂、余白の中の物語。人の不在が語る物語。	✅ 静かな中に強いドラマ。DORAMPICの静謐性に通じる。
👤 ジョルジョ・デ・キリコ	現実の風景に、夢のような時間感覚を持ち込む。	✅ DORAMPICの「記憶」「詩情」「超現実」の要素と響き合う。
👤 アントニオ・ロペス	写実性を通じて、時間と人生を風景に込めるスペイン画家。	✅ 時間の堆積を描く姿勢が、DORAMPICの深層と合致。

👤 結論：「DORAMPIC」は何の後継か？

ロマン主義の情緒

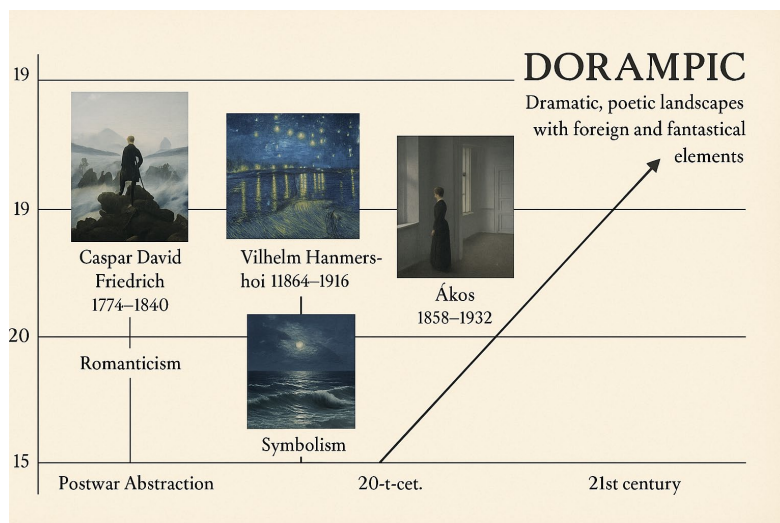
印象派の時間性

象徴主義・ハンマースホイの詩的静寂

そして現代への問いかけ

➡ **DORAMPIC = 「心の記憶としての風景画」**

見る人自身が登場人物となる、新しい鑑賞体験をもたらすスタイルです。



《DORAMPIC宣言（マニフェスト）》 — 心に残る風景を —

私たちは風景をただ“きれい”と切り取るのではなく、その中に潜む物語、記憶、孤独、希望、沈黙、そして時を描く。

DORAMPICは、風景に**詩**と**ドラマ**を刻む。

空や海、街路や森に、名もなき人生のかけらを映す。

鑑賞者は絵の外から観る存在ではなく、物語の登場人物の一人である。

私たちは、誰もが心に持つ“あの日の景色”を、絵画に宿す。

そしてそれは、見る者の中で再び立ち上がり、新たな意味と感情を生む。

DORAMPICとは、**時代を越えて心にとどまる風景芸術の再定義**である。

✧【日本語キャッチコピー案】

「心の奥に残る、風景のドラマ。」

「風景に、物語を。あなたの記憶に、静かに残る絵。」

「見る風景から、感じる風景へ。」

「描くのは、ただの景色ではない。あなたの感情だ。」

「時間が止まり、記憶が始まる。」

「見て、感じて、物語の中に入っていく。」

【英語版マニフェスト：DORAMPIC Manifesto】

— Landscapes that Stay in the Soul —

We do not paint landscapes merely to depict beauty.

We paint to capture memory, solitude, silence, time, and a sense of drama.

DORAMPIC is poetry embedded in scenery.

It brings forgotten emotions back through sky, sea, streets, or rooms.

The viewer is not outside the painting, but inside the story.

Everyone carries a landscape in their memory.

DORAMPIC gives it shape, silence, and voice.

DORAMPIC is a redefinition of landscape art — one that stays, resonates, and lives on.

【英語キャッチコピー案】

“The landscape you don’t forget.”

“Stories written in light, silence, and space.”

“Where landscape becomes memory.”

“Beyond scenery — into emotion.”

“Poetic landscapes that echo within.”

“A still moment. A lasting feeling.”

見る風景から、感じる風景へ。
時間が止まり、記憶が始まる。

*Beyond scenery—
into emotion.*

